

# 小坂谷教授(八工大)東北文化奨励賞

## 「自動採譜装置」研究、開発

同賞は、自然科学研究に「スモス学術振興財団」(仙台市)が創設。5月に同市「インテリジェント・コ」で授与式が開かれ、東北地

を受賞した。東北が生み出した先見性のある文化を内外に発信する優れた活動に贈られる賞で、小坂谷教授は取材に対し、「賞をもらえとは思っていませんでしたので、素直にうれしい」と喜びを語った。(福田駿)

### 八戸

三味線の演奏を自動で譜面に起こす「自動採譜装置」の研究・開発に取り組んでいる八戸工業大大学院の小坂谷壽一教授が、第1回「インテリジェント・コスモス東北文化奨励賞」



「インテリジェント・コスモス東北文化奨励賞」を受賞した小坂谷壽一教授。右は自動採譜装置

## 三味線の演奏、記録可能に

方の文化の体系化に尽力した研究者に賞が贈られた。小坂谷教授が開発した装置は、津軽三味線を弾けば自動的に西洋譜と三味線譜面を作成し、記録として保存することができる。

三味線の楽曲は多くが口伝で継承されているため、譜面化によって楽曲の正確な伝承や、三味線の裾野拡大などが期待されている。

現在は、津軽三味線奏者の松田隆行さん(八戸市出身)と共に研究を進めており、これまでに約40曲を譜面化した。本年度中にさらに数十曲を譜面に起こし、青森県教委に寄贈する予定だ。

小坂谷教授は「研究にスポットライトが当たったのはありがたい」とし、「今後は、装置を使って東南アジアなどの伝統音楽の記録化にも挑戦したい」と研究の進展に意欲を示した。